

若い世代と市長との座談会

12月20日、将来を担う若い世代と久喜市のまちづくりについて意見交換するため、「若い世代と市長との座談会」を開催しました。座談会では、4つのテーマに基づき、若者からさまざまな意見が出されました。座談会の様子の一部をお届けします。



テーマ①久喜市をもっとよくする！市民参加をアップデートしよう！

原田さん「私の友人で去年、選挙のアルバイトに参加して、実際に選挙に行った人もいたので、アルバイトやボランティアを大学生か高校生から積極的に集めるのはいい方法だなと思いました」

山田さん「集客力のあるイベントを開催して、その中で市政について話すというものがあれば若者も参加しやすいと思います」

久米さん「知人がいると参加しやすいので、地元の学校などこういうイベントがあると周知することで、参加しやすくなると思います」

佐藤さん「実際に行っているイベントをインターネットに掲載するだけでも興味を沸くのではないかと思います」

テーマ②デジタル世代で考える情報発信とコミュニケーション

原田さん「市長や市役所で働いている人たちがお



すすめのスポーツやお店などを紹介する1分以内のショート動画をYouTubeで発信すること

によって、若者が見るようになると思うので、YouTubeチャンネルをもっと活用した方がいいと思います」

成田さん「最近では、TIKTOKをよく見ます。自然に流れてくるので、目に入りやすいです。TIKTOKを活用した方がいいと思います」

小原さん「市公式のVTubeやボーカーロイドを起用するのがいいと思います」

テーマ③若い世代が選ぶ久喜市の新名所づくり
渡邊さん「友人から久喜

にあるおしゃれなカフェ、いいよねと言われたことがあり、SNS映えるカフェやそのカフェの近くに新しい観光スポットがあれば、話題になり有名になると思います」

大越さん「私は、栗橋に魅力を感じていて、田んぼが多く線路と電車が綺麗に見えます。写真を撮りに来ている人もいるので、その魅力をもっと推していけたらなと考えています」

佐藤さん「久喜市では、らき☆すたや鉄道むすめのマンホールカードを配っていて、市外の方から人気があるので、それをきっかけに他のスポットにも誘導すれば、活性化になるのではないかと思います」



テーマ④外国人と日本人の地域コミュニケーションをアップデートするには？

山田さん「外国の方と関わることが大事なので、文化交流のようなイベントもいいのかと思います」

渡邊さん「小学生や中学生の時に、外国の方とスポーツをする機会があれば、大人になった時話しやすいのかなと思います」



▲前列左から佐藤さん、小原さん、市長、前列右渡邊さん、後列左から成田さん、久米さん、山田さん、大越さん、原田さん

座談会を終えて

参加者からは「市政に対して理解を深めることができ、非常に学びがあった」、「市長と実際に話すことが新鮮で、とても興味深かった」、「非常に有意義な時間だった」という感想が寄せられました。